

# 収 支 決 算 書

## 収入の部

款	項	目	金額 (円)	内 訳 (節内訳を記載すること)
県支出金	県補助金	教育費県補助金	282,000	社会教育費補助金
町 税	町民税	個人	349,969	現年課税分
計			631,969	

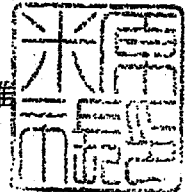
## 支出の部

款	項	目	金額 (円)	内 訳 (節内訳を記載すること)
民生費	社会福祉費	人権対策費	143,667	委託料 [REDACTED]
			240,504	委託料 [REDACTED]
教育費	社会教育費	人権教育啓発推進費	101,000	報償費
			140,798	需用費(消耗品費)
			6,000	保険料
計			631,969	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年4月7日

米原市長 平尾 道 雄



事業実施計算書

施設名

積算の基礎

区分	費目	金額	積算の基礎	円
補助対象経費	委託料	143,667円	親子ふれあい自然体験事業	88,834円
			親子ふれあいキャンプ	
			報償費	
			講師謝礼	23,000円
			消耗品費	
			お花紙	17,508円
			ポンド	6,244円
			額・ベニヤ板・画用紙	11,409円
			カレー・朝食材料	30,323円
			傷薬	350円
			世代間交流自然体験事業	54,833円
			報償費	
			講師謝礼	10,000円
			畑地借上謝礼	8,000円
			消耗品費	
			苗代	18,000円
			肥料代	10,727円
			材料代(マルチ・トンボ)	8,106円
	合計(A)	143,667円		
			【補助金額(A)×1/2】	【 72 千円 】

注)「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記入すること。  
 なお、実施施設数が複雑の場合は、実施施設毎に作成し、費用毎の合計額を本用式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]  
 指定管理者 [REDACTED]  
 管内区域 [REDACTED]

① 困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする館内の現状と変化  
 (保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

[REDACTED]

② 取り組みの成果

自然にやさしい環境作りでは、ふれあい農園を活用して、地域の子ども・保護者又、市内に呼びかけ高齢者も交え世代間交流を図りながら、自然愛護の精神を培うことができた。

親子ふれあい体験活動では、地域の親子で [REDACTED] 啓発のPR看板を作成し、親子の絆が深まり又、団体生活の協力性などが身につくことができた。

③ 今後の方針等

さつまいも栽培では、オーナー制で募集をかけたところ核家族の方が、体験できたことを大変喜んで参加して下さり職員にも力が入り、今後もこのような事業を中心に地域のふれあいの場の拡大を図っていきたい。

事業の内容

名称	親子交流体験事業	世代間交流自然体験事業	
対象	地域の児童と保護者	地域の児童と高齢者・保護者	
内容 (テーマ)	《親子ふれあいキャンプ》 1泊2日のキャンプを通して、親子でふれあいながら一緒に、[REDACTED] にふさわしい手作りのPR看板を製作した。又、親子で料理を作る楽しみも味わった。	《さつまいも栽培》 ふれあい農園を活用して、地域のふれあいの場として、世代間交流や異年齢交流などいろいろな人と関わりながら、さつまいも植えからいもほりまでの体験をし、流した。	
参加者 (うち 児童数)	90名 (60名)	80名 (30名)	
実施場所	[REDACTED]	[REDACTED] 及び借上げ農園	
開催期間	平成19年 8月 17日 ～平成19年 8月 18日	平成19年 6月 12日 ～平成19年 11月	
開催時間	24時間	10時間	
事業実施後に期待すること	親子で一緒に、物を作る楽しさ完成する喜びを、あじわうことができた。	親と子が「ものづくり」を通して、絆や信頼関係を確立することができた。また、高齢者との交流を通して地域の教育力が高まった。	

1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと

\* 実施事業計画書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

施設名

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	委託料	240,504円	親子体験活動事業(報償費—講師・協力者謝金) 18,700円
			・冬みつけ! (カンカラ三線教室) 5,500円
			・児童館文庫 13,200円
			親子体験活動事業(消耗品費—材料代等) 181,088円
			・親子工芸教室(ろうそく等) 8,190円
			・親子木工教室(絵具、工作用木材、接着剤、工具他) 67,534円
			・親子で飛ばそう紙飛行機 0円
			・親子ハイキング(紙・マジック等) 6,000円
			・親子キャンプ(着火材、木炭、昼食材料他) 38,041円
			(参加負担金 @400円×6人=2,400円) △2,400円
・親子七夕会(樋、そうめん、つゆ、短冊他) 9,902円			
・春みつけ! (苺狩り)(皿、練乳他) 3,376円			
・秋みつけ! (栗拾い)(栗ご飯材料他) 11,080円			
・冬みつけ! (カンカラ三線教室) 17,565円			
・未就園児親子交流会(食材料、画用紙他) 20,000円			
・児童館文庫 1,800円			
親子体験活動事業 (保険料—傷害保険料、郵送代) 4,516円			
・親子ハイキング 郵送代 1,000円			
・親子キャンプ 525円			
・春みつけ! 1,113円			
・秋みつけ! 378円			
・七夕会 1,500円			
親子体験活動事業(使用料及び賃借料—施設使用料) 36,200円			
・親子キャンプ(施設使用料) 施設、備品使用料 36,200円			
合計 (A)	240,504円		

【補助金額 (A)×1/2】

【102千円】

注)「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。



事業実施計算書

施設名

費目		金額	積算の基礎			
		円			円	
補助対象経費	報償費	101,000	親子体験ふれあい事業 講師、指導者謝金			
			レクリエーション遊び		30,000	
			人形劇		10,000	
			折り紙教室		20,000	
			親子クッキング	@ 10,000 × 2回	20,000	
			託児謝礼	@ 6,000 × 2回	12,000	
			〃	@ 6,000 × 1回 × 3人	18,000	
	補		親子クッキング負担金	500 × 18組	△9000	
	助	消耗品費	140,798	親子体験ふれあい事業		
				子育て支援 (遊具、材料費)	26,797	
			親子デイキャンプ (材料費)	27,980		
			親子クッキング (材料費) 第1回	9,781		
			ものづくり体験 (材料費)	17,506		
			子どもクッキング (材料費)	9,769		
			折り紙教室 (材料費)	2,966		
			クリスマス会 (材料費)	12,150		
			学年まとめの会 (材料費)	11,627		
			子育て支援 (絵本)	15,809		
			親子クッキング (材料費) 第2回	6,413		
象	保険料	6,000	親子体験ふれあい事業 参加者傷害保険		6,000	
経	合計	247,798				
費			【 補助金額 (A) × 1/2 】		【 115 千円 】	

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名 [REDACTED]

管内区域 [REDACTED]

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

[REDACTED]

②取り組みの結果

親子や地域の人たちと一緒に、さまざまな体験活動を行うことで、他の友だちへの思いやりや積極的な活動が出来て、子ども達の活動意欲の向上が図れた。

③今後の方針等

家庭や地域の中で、子どもたちの様々な体験活動を通じ、今どのような体験が必要なのか、住民のニーズを聞きながら、子ども達に必要な力を身に付けられるような事業を実施していきたい。

事業の内容

名 称	親子体験ふれあい事業(地域)	親子体験ふれあい事業(体験)	
対 象	児童と保護者	児童と保護者	
内 容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援事業</li> <li>親子キャンプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子クッキング</li> <li>クリスマス会</li> <li>ものづくり体験</li> </ul>	
参加者 (うち児童 生徒数)	延べ192名 (90)名	延べ80名 (77)名	名 名
実施場所	[REDACTED]他	[REDACTED]	
開催期間	平成19年 5月 ~ 平成20年 3月	平成19年 7月  平成20年 3月	平成 年 月
おや開催	28 時間	13 時間	時間
事業実施 による 成 果	親と子のふれあいと人との かかわりを深め、みんなで 遊ぶ楽しさや面白さを体験 することが出来た。	親と子や友だちとの共同作 業によって、交流やコミュ ニケーションを深め、様々 な体験を通して活動の意欲 を高めることが出来た。	

- ※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
- ※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること
- ※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと
- ※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書 (総括)

市町村名 米 原 市

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	報償費	101,000	<p>〃 (247,798円)</p> <p>親子体験ふれあい事業 講師、指導者謝金 110,000 親子デイキャンプ、人形劇、折り紙教室、親子クッキング 託児謝礼 (参加負担金 @500円×18組=9,000円) △9,000</p>
	消耗品費	140,798	<p>親子体験ふれあい事業 子育て支援(遊具、絵本、材料費) 26,797 親子デイキャンプ(材料費) 27,980 親子クッキング(材料費)2回分 16,194 ものづくり体験(材料費) 17,506 子どもクッキング(材料費) 9,769 折り紙教室(材料費) 2,966 クリスマス会(材料費) 12,150 学年まとめの会(材料費) 11,627 子育て支援(絵本) 15,809</p>
	保険料	6,000	親子体験ふれあい事業 参加者傷害保険 6,000
	委託料	384,171	<p>〃 (240,504円)</p> <p>親子体験活動事業(講師、協力者謝金) &lt;報償費&gt; 冬みつけ、児童館文庫 18,700 &lt;消耗品費&gt; 親子工芸教室(ろうそく等) 8,190 親子木工教室(絵具、工作用木材、接着剤、工具他) 67,534 親子ハイキング(紙、マジック等) 6,000 親子キャンプ(着火材、木炭、昼食材料他) 38,041 (参加負担金 @400円×6人=2,400円) △2,400 親子七夕会(桶、そうめん、つゆ、短冊等) 9,902 親子で春みつけ(苺狩り一皿、練乳等) 3,376 親子で秋みつけ(栗拾い一栗ご飯材料他) 11,080 親子で冬みつけ(カンカラ三線教室) 17,565 未就園児親子交流会(食材料、画用紙他) 20,000 児童館文庫 1,800</p>
			親子体験活動事業(傷害保険料、郵送代) <保険料> 親子クッキング、親子キャンプ、春みつけ、秋みつけ、七夕会 4,516
			親子体験活動事業(施設使用料) <使用料及び賃借料> 親子キャンプ(施設、備品使用料) 36,200
			<p>〃 (143,667円)</p> <p>親子交流体験事業 &lt;報償費&gt; 親子ふれあいキャンプ講師謝礼 23,000 &lt;消耗品費&gt; 親子ふれあいキャンプ(食材料、材料代他) 65,834</p>
			<p>世代間交流自然体験事業 &lt;報償費&gt; さつまいも栽培 18,000 &lt;消耗品費&gt; さつまいも栽培(苗代、肥料代等) 36,833</p>
	合計	631,969	

[ 補助金額 (A) × 1/2 ] [ 282 / 千円 ]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。



